

Ⅷ 自治公民館活動

『 地域おこしと通学合宿 』

うきは市東高見地域おこし実行委員会 事務局 江藤芳光

事業名 自治公民館活動

事業の目的 地域コミュニティなど衰退する東高見の実情を踏まえ、区域（1区から6区）及び世代の垣根を超えて、共通する課題及び問題点などを把握・認識し、地元小学生児童を対象とした通学合宿に取り組むことにより、新たな共生区域として連携・交流を深め、地域の再生及び振興を図ることを目的とした。



事業の実施主体 東高見地域おこし実行委員会

連携・協力機関・団体等

- ・実行委員会・・・東高見地域おこし実行委員会、小学校長、大石公民館長・主事、市公民館館長職員、消防団、研修会館長
- ・支援者（宿泊・調理等）・・・区区长・分館長、研修会館役員、老人会、民生委員、愛の会
- ・外部支援者・・・夜の学習（4名の外部講師）、浮羽消防署、温泉組合〔入浴〕、大生寺〔座禅〕
- ・外部協力団体・・・小学校職員、市教育センター職員、保健婦（市役所保健課）、駐在所

事業予算

| | |
|---------------|----------|
| 福岡県からの委託料 | 200,000円 |
| 公民館活動等充実事業助成金 | 30,000円 |
| うきは市からの活動補助金 | 141,261円 |
| 参加者からの負担金 | 28,000円 |
| 合計 | 399,261円 |



実施に至る経緯及びプログラム作成の視点

(1) 日程の面・・・通学合宿の実施日程を決めるにあたっては、通学合宿の趣旨に加え、子どもたちに必要な体験の機会を与えるための休日、さらに気候等を考慮して9月が適当と考えた〔実施日9月17日～23日〕。合宿期間は、学校に登校する日が3日、休みとなる日が4日間となった。また、通学合宿が終了した2日後に運動会が予定されこのことを心配する保護者もいた。

(2) 運営組織の面・・・運営組織の編成については、特に「東高見地域おこし実行委員会」を中心に組織編成を行い、統括責任者に東高見地域おこし実行委員会長、副統括者にうきは市公民館長・大石公民館長を、実行責任者に東高見地域おこし実行委員副会長。また、顧問に大石小学校校長・大石駐在所・東高見研修会館長・消防分団長を、さらに、事務・運営責任者に、東高見地域おこし実行委員会・うきは市公民館職員・大石公民館主事を充てた。特に、通学合宿期間中、日々の担当者として1区～6区の区長・分館長や研修会館役員、子ども会育成委員、老人会、民生委員、「愛の会」等の方々



にお願いし、地域総がかりで対応した。

(3) **スタッフ募集の面**・・・東高見地域おこし実行委員会会長名で、地域の方へ「大募集 通学合宿スタッフ」のチラシを配布し、「通学合宿って何するの」・「スタッフって何するの」の説明を行い、子どもたちとの触れ合いに興味のある方々に、あなたの時間をほんの少し分けて下さいと呼びかけ募集した。また、「役割分担アンケート」を作成し、実施日・行事名・行事内容及び活動時間を示して対応できる日を記入して頂き、実行委員会（スタッフ会議）でさらに役割分担を明確化すると共に、「スタッフの基本方針」として取り組み趣旨の共通理解を深め、子どもへの関わり方や安全管理さらにスタッフ心得を示した。

(4) **参加者募集の面**・・・「参加者募集」のチラシを作成・配布した。当初の参加対象者は東高見の4年生～6年生児童 20名程度とし、1年生～3年生の児童については、日曜日と祝日の活動参加を予定した。しかし、結果として習い事や行事の関係から参加者が集まらず、実行委員会で検討した結果3年生まで枠を広げ募集することとした。

(5) **保護者啓発の面**・・・参加者募集のチラシを配布し募集をかけたが、保護者啓発面ではやや不十分だった。参加者の申込状況から判断すると、募集要項配布時に於ける保護者啓発の方法について検討しておく必要があったかもしれない。募集後、7月19日に保護者説明会を実施したが、行事などと重なり参加者も少なく保護者の意識の低さを感じた。小学校への協力依頼を行い、年間行事予定に組み込んだり、PTA総会などで説明を行うなど小学校の協力を得て具体的な啓発なども考えた方が良かったかもしれない。

(6) **地域の子どもたちの取り扱いの面**・・・募集要項では、参加対象外の1年生～3年生については、「東高見通学合宿レクリエーション参加申込書」を作成し、通学合宿行事の中で「防災学習・いかだ流し・魚とり・地域探訪・お年寄りとの交流・鷹取山登山」に参加することができるようにした。

(7) **その地の面**・・・保護者より、習い事や生活面の心配などの意見が寄せられた。事前に習い事の調査や保護者への通学合宿の趣旨と内容の説明を行うなど理解を深める工夫が必要であった。

事業の内容

親元を離れ異年齢での共同宿泊生活を行い、食事の準備や後片付け、洗濯や掃除、班別の活動や各種行事など様々な体験活動をさせることによって「生きる力」の育成を狙いに実践を行った。

また、子どもたち同士のコミュニケーションや共同性の育成の場として、朝・夕の集いや班別の反省会等を行った。*活動の内容は以下のとおり



| 9/17(土) | 9/18(日) | 9/19(月) | 9/20(火) | 9/21(水) | 9/22(木) | 9/23(金) |
|------------------|------------|------------------|--------------|--------------|--------------|--|
| 【命の日】 | 【川の日】 | 【地域の日】 (敬老の日) | 【学びと生活の日】 | | | 【山の日】 (秋分の日) |
| 起床 | | | | | | |
| 朝のつどい(ラジオ体操) | | | | | | |
| 朝食の準備・朝食・後片付け | | | | | | |
| | 野外活動 準備 | 地域探訪 準備 | 登校準備 集団登校 | 登校準備 集団登校 | 登校準備 集団登校 | 鷹取登山 鷹取山頂を經由して 調音の滝まで |
| 開講設営・ 準備 | いかだ流し | 地域探訪 | 学校 | 学校 | 学校 | |
| 自宅で昼食 | | | | | | |
| 開講式・オリ ンテーション | 魚とり | お年寄りとの 交流 | | | | |
| | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------|----------|-------|-------|--------------------|---------------|------|-----|
| 防災学習 浮羽消防署に て | グラウンドゴルフ | | | | | | 閉講式 |
| | | | | 下校 | 下校 | 下校 | |
| | | | | 宿題など | 宿題など | 宿題など | |
| 夕食準備・夕食・後片付け | | | | | | | |
| 入浴(筑後川温泉) | | | | | | | |
| 自由時間(洗濯等) | | | | ソフトバレー(マ さんバレー) | キャンプ ファイヤー | | |
| 算数の話 | 算盤の話 | 護身術の話 | 環境の話 | | | | |
| 学習・日記 | 学習・日記 | 学習・日記 | 学習・日記 | 学習・日記 | 登山準備 | | |
| 就寝 | | | | | | | |

事業の成果

東高見の地域ぐるみの「通学合宿」への取り組みが、アンケート結果からも子どもたちの「生きる力」の育成につながったと考える。また、子どもたちと保護者が1週間はなれて生活した後、対面した時の笑顔は「家庭の大切さ」をさらに認識・実感できたのではないかと確信した。

さらに、「東高見地域おこし実行委員会」が主催者となり実施した今回の「通学合宿」、様々な課題が山積する中でようやく終わることができた。東高見地区では、地域コミュニティなど衰退する東高見の実情を踏まえ、新たな共生区域として地域の人々の連携・交流を深め、地域の再生及び振興を図ることを目的としたが、保護者・地域の人々、各種団体等の広範な協力を得て推進したことが、協力する地域の方々にとっても子どもたちをより深く理解する場となり、地域で教育する重要性や地域の教育力をたかめる事につながったと考える。



今後の課題

①今回、東高見地区で初めて取り組んだ「通学合宿」は、地域を挙げての取り組みとなり、子どもたちの生活・自然体験の充実によって子どもたちの心を豊かに育むことができたと考える。また、地域社会で子どもたちの体験活動の充実を図るための取り組みを通して、地域の方々同士の繋がりも深まり、地域の教育力を高めることにも効果があった。

次世代を担う子どもたちの育成に、家庭や地域のかかわりは重要である。そのためにも、この取り組みが継続されていくことを望みたい。また、支援する人的面や経費の面、学校を始め関係者と連携も含めて種々検討していく必要がある。

②うきは市では、昨年度、山春公民館で通学合宿を実施し、本年度は東高見地区と吉井公民館で実施した。今後、「通学合宿」の意義や成果を踏まえて、市内の各地区公民館での子育てと関わり主体的な活動につないでいく必要がある。

問い合わせ先

うきは市教育委員会 生涯学習課公民館係
〔うきは市公民館〕
電話) 0943-77-7476 FAX) 0943-77-8370

